

とうにうん

第 6 号 09 年 8 月 22 日
J R 東海 労 東 二 運 分 会
責 任 者 庭 山 義 輝
編 集 教 宣 部

要員は本当に確保されるのか 入らず おまけに流される年休

全ての所員のみなさん！

夏季輸送期間はまだ継続中です。まだまだ気を緩められません。安全と健康と家族のためにも、もう少しです。

わたしたち東海労は、年休が入らない、流れるという悲惨な状況を何とか改善するように、会社に対策を求めています。この要求は J R 東海ユニオンも国労も同じです。しかし残念ながらご存じの通りの有り様です。

J R 東海ユニオン組合員のみなさん！

ユニオン本部大会が 7 月にあり、「要員不足や要員確保」「低コスト化」について各現業、非現業ともに、何とかしてほしいという声が出されたと聞きました。

この切実な声にユニオン本部は「不払い残業を一切許さないという概念で交渉」「人の足りないところには要員を配置する取り組みを求めていく」と答弁したそうです。驚きです。「不払い残業」の概念など関係なく、不払い残業を一切なくす、と言えれば良いのです。また、「要員を配置する取り組みを求めていく」とはどういう意味なのでしょう。なんとも不思議な「求め」です。

残念ながら「要員を配置」するのは、組合ではなく会社です。仮に会社が「要員を配置する」と言っても、その要員をどこから異動するのか？ どこかに余った要員がいるのか？ 全く組合員を馬鹿にした本部答弁です。

大会発言ではありませんが、同じ 7 月の記者会見で松本社長は「低コスト化」について、業務全般にわたる低コスト化の徹底、経費の精査等を行う、と断言しました。最大のコスト・経費は人件費です。会社は要員を増やすつもりなど、毛頭ない、と言わざるを得ません。

組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！

協約改訂交渉が始まります。本気で要員の確保を実現させましょう。あきらめて、年休を流すなんてダメです！